

水曜歴史講座300回のあゆみ

1 「れきはく講座—学芸員と学ぶ」がスタート（平成7年度～11年度）

平成7年11月14日（水）に「れきはく講座—学芸員と学ぶ」の第1回を開催しました。歴史博物館準備室（当時）では、既に平成5年度から「歴史博物館収蔵資料展」や「夏休みこども歴史教室」など、市民や子供たちを対象とした催しを行っており、今度は尼崎の歴史や学芸員の研究成果を市民の皆さんに



平成7年11月の第1回れきはく講座

お話しする機会を設けようということで始めた講座で、会場は中央図書館セミナー室をお借りしました。平成11年度までは11月の水曜日の午後に3週連続で開催するという形式の講座でした。ちなみに第1回は「収蔵資料に見る日本博覧会120年の歩み」と題して開催しましたが、受講生は16人という、今では考えられない少なさでした。その後、受講生は年々増加し3年目には50人を超えるようになりました。

2 月例講座への発展と内容の充実（平成12～13年度）

平成12年度から、れきはく講座は毎月第2水曜日の午後に中央図書館セミナー室で開催する月例講座へと発展させ、この時から年間受講生制度を導入しました。当時は、尼崎市総合文化センター美術ホールで毎年10月に歴史博物館収蔵資料展を開催していましたので、収蔵資料展のテーマに合わせてれきはく講座も年間テーマを決めていました。また、平成13年には尼信会館が開館し、歴史博物館資料の展示を秋に約1か月間行うことになりましたので、尼信会館での展示会の展示解説も水曜歴史講座の一環として実施することにしました。さらに近隣の博物館等の見学会もメニューに加えることによって、れきはく講座の内容が充実していった時期でした。

3 「水曜歴史講座」に名称変更（平成14～20年度）

平成14年度には、尼崎市の組織改正によって歴史博物館準備室と文化財担当が合併し、歴博・文化財担当という新組織が発足したことに伴い、講座の名称を「水曜歴史講座」に改称しました。名称変更に合わせて講座に年間テーマを設定することを廃止し、その時々学芸員の研究成果や、尼崎の歴史・文化財に関する旬の話題をお話しするという現在の形式に変更しました。また、文化財担当が実施していた市内の史跡・文化財を巡る歴史散歩事業は、水曜歴史講座の見学会を兼ねて実施することになりました。平成15年4月には通算50回、平成20年2月には通算100回に到達しました。



小田地区の史跡をめぐる歴史散歩

4 文化財収蔵庫の移転と自前の講座室での開催（平成21年度～30年度）

平成21年度には文化財収蔵庫が南城内の旧城内中学校校舎に移転し、同年4月の講座は文化財収蔵庫の常設展示オープン記念式典にご参加いただきました。また、従来は博物館施設や市内の史跡・文化財に限定していた見学会を、「大人の社会見学」をテーマに、近隣の企業や工場、歴史的建造物等も見学先に加えるようになり、受講生のみなさんにご好評いただきました。

平成25年度に文化財収蔵庫内に講座室と企画展示室を整備する工事を行い、平成26年1月から水曜歴史講座は竣工した講座室で行うことになりました。講座開始から18年にしてよ



140名が受講した平成26年6月の講座

うやく自前の施設で講座が行えるようになりました。また、平成26年度からは講座室の隣に整備した企画展示室を会場に年間5回、文化財収蔵庫企画展を開催することになり、その第1回として「秀吉 尼崎の危難」展を開催し、5月と6月の水曜歴史講座は企画展の展示解説講座として開催しました。人気の高い大河ドラマとも関連する講座でしたので、6月の講座では室内を椅子席のみの140席とし受入態勢を整えましたが、講座開始前に140席全席が埋まってしまい、結局約30人の方の聴講をお断りするという事態になってしまいました。この140人というのが水曜歴史講座のこれまでの最多受講者数記録となっています。平成28年度には、受講者増加に対応するため、毎月第2水曜日の開催を、毎月第2・第4水曜日に2回同じお話しをする方式に変更し、平成28年度の「大坂の陣と尼崎」をテーマにした講座では2回合計159人もの受講生が集まりました。平成29年6月には通算200回を迎えました。そして、歴史博物館整備工事のため文化財収蔵庫は休館することになり、平成30年9月開催の水曜歴史講座が文化財収蔵庫を会場とした最後の水曜歴史講座となりました。

5 れきはくキャラバン講座（平成31年度～令和2年度）

平成31年度（令和元年度）は、新たに整備される歴史博物館を市民の皆様に広く紹介し、歴史博物館に対する市民の皆様のご意見やご要望を広くお聞かせいただくために、6行政区の生涯学習プラザを会場に「れきはくキャラバン講座」を開催しました。「れきはくキャラバン講座」では、例えば大庄南生涯学習プラザを会場とした回では「大庄村の歴史と日本一の村役場」、武庫東生涯学習プラザを会場とした回では「武庫地区にあった弥生時代最大級の大型掘立柱建物」など、各行政区の歴史・文化財に関するお話しを学芸員がさせていただくと共に、毎回の講座の前には必ず、新たに整備される歴史博物館の概要を市民の皆様に30分程度で説明させていただきました。令和2年度も4月から9月まで「れきはくキャラバン講座」を開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症防止のため7月まで中止となり、8月に1回だけ尼崎市総合文化センターホール・ミニを会場に「れきはくキャラバン講座」を開催しました。

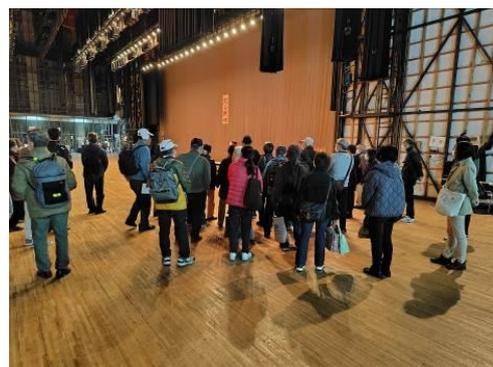
6 歴史博物館開館以降（令和2年度～）

令和2年10月10日、歴史博物館が開館しました。歴史博物館3階に新たに整備された講座室が水曜歴史講座の新会場となり、10月14日、「藩主評伝」をテーマに第232回水曜歴史講座を開催しました。新型コロナウイルス感染症防止のため、定員50人の事前申込制としましたが、あっという間に定員に達し水曜歴史講座の根強い人気は証明されました。その後も毎月第2水曜日午後の開催を基本として開催に努めましたが、緊急事態宣言発出により中止せざるを得ない回もありました。

令和4年度からは見学会を再開し、令和6年度には年間受講生・当日受付という従前の開催方式を復活させ、令和7年度には受講生が100人を超える回もありました。そして第1回から32年を経た本日の令和8年度第1回が記念すべき第300回となりました。受講者の皆様がさらに尼崎の歴史や文化財に対する関心を高めていただけるよう歴史博物館職員一同、工夫を重ねて参りますので、今後とも水曜歴史講座をご愛顧いただきますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

7 水曜歴史講座ランキング（令和8年3月まで）

- ・最多受講者回 平成26年6月11日開催回 140人
- ・最少受講者回 平成7年11月14日開催回 16人
- ・最多登壇者 桃谷学芸員 56回
- ・最高齢登壇者 榎本利明さん 91歳
- ・通算受講者数 17,745人



令和7年12月のアルカイトホール裏方見学会